



大林「入社してから聞いた話ですが、集団面接の時のあのセリフはかなり強烈だったようで、二次面接の面接官が一次面接をやった方々から『自分のことをめっちゃくちゃ頭がいい！』と言いつつ切ったヤツがいたんだけど会ってみる？』と言われたそうなんです。で、興味半分で呼んだらしいんです。二次面接では、面接官が部屋に来るや否や『内定ありがとうございます！』って叫びましたね。実力からいったら99%ダメだと思いいかハカの賭けにでたんです。結局、その強烈なインパクトで契約社員として補欠採用さ

れました。実は、その時の面接官が後のわたしのボスになる江尻さんという女性です。よく私なんかを採用したもんだと感心しますし、感謝もしています。本当にすごい人で、いまだに頭が上がりませんよ。コンサルタントとしてのスタートはまさにゼロからでした。とにかく一つ一つ積み上げていくしかありませんでした。当初は本当に厳しかったですよ。仕事ができない、食えないってこういうことなんだと実感しましたね。」

人には必ず神がかかる瞬間が訪れる。
大規模研修プロジェクトの構想を
イメージした時がそれだった。

——株式会社ノビテクを設立するまでには相当厳しい時期があったということですね。それでも大規模な研修運営プロジェクトを成功に導くまでに至った、その原動力は何だったのでしょうか？

大林「実はノビテクの前に立ち上げた会社の社風がまた独特で。プロの研修講師ばか

りを集めていましたので一匹狼集団って感じでした。その雰囲気は好きだったんですが、組織化するととなかなか難しく。この大規模研修プロジェクトに関しても周囲と意見が合わず一旦わたしは身を引いたんです。でもクライアント側が『大林さんはなんで出てこないんだ』って声を掛けてくれて。それで、先方の会社に単身乗り込んで、色々な人に話を聞いてまわりました。どうしたらこのプロジェクトを成功させられるか、その糸口を見つけようと必死でした。3日間で60ページの提案書を作成して提出しました。一度はダメになりました。プロジェクトでしたが、この時、自分なら成功させる事ができるという確信があったんです。つまり『やる気』があった。それから、とにかく無我夢中で。400人近い講師を面接したり、外部からブレインを招聘したりしました。その時知り合った講師やスタッフの方々は今でもノビテクと一緒に仕事をしていただいています。」

——これまでの経歴から、思い切りが良く失敗を恐れないという『恐いもの知らず』

な印象を受けますが、実際はどうですか？

大林「いや、そんなことはないですよ。失敗したらどうしようって気持ちは常にあります。でも周囲の人がわたしに期待していることは『失敗』ではないですから。わたしが何かを成功させる、やってくれるというのを期待してくれているからこそ、じゃあどうやって上手にいくかということだけを集中して考えられるのだと思います。もちろん社長として背負うものは大きいですが、失敗は恐いですよ。だからこそ、リーダーとしての『覚悟』だけはしっかりと

持っているつもりです。」
——『やる気』ではなく、あえて『やる気』という言葉を使っていることから、この言葉に社長の強い思いが込められている気がしますが……

大林「『やる気』は誰にでもあるものなのです。ただ『やる気』というイメージがないと頑張れない。何をしたら成功できるか、それが分かった時、人は成功へのイメージに向けて力を発揮できるのだと思います。人から認めてもらえたときに感じる喜びと成長したという達成感、『承認』と

『成長』という行動が人間には不可欠で、この成功期待感こそが人をやる気にさせ、仕事を楽しくさせる。まさに『やる気』が人を動かす力となっているのだと考えています。なんでもやってみる、それが何より大切だと思います。誰だって最初は未経験。はじめの一步を踏み出せるかどうか力ギなんです。やってみる、ポジティブに考える。『事実が変わらない、意識と行動が人を変えるのだ』ということ、研修を通してこれからも伝えていきたいですね。」



これが、業界で評判となっているノビテクオリジナルの研修テキスト本。ここでも説教ペギンのキャラクターが登場。見ているだけで楽しくなってしまう遊び心のあるテキスト本。これが研修資料に使用されているとは驚きだ。写真左上から、ビジネス文書・読書録画、顧客対応力、ビジネスプランニング、MS-Office。その他、各企業向けにオリジナルカリキュラムのテキストも多数あり。



誰だって、仕事を楽しくしたいと思っている。仕事を楽しくできる人材、仕事を楽しく会社づくりをプロデュースする、それがノビテクの「楽しい仕事」です。



大林伸安(おおばやし・のぶやす)
株式会社ノビテク 代表取締役 やれる気請負人
一昨年、日本一の規模の研修実施プロジェクトを講師側総責任者としてマネジメントし、完遂させる。研修講師としても大手企業を中心に100社以上、経営幹部から新入社員まで、何万人もの研修実績がある。“やる気請負人”として教育やコミュニケーションの促進により組織や人材のやる気を引き出す。
<http://www.nobetech.co.jp/>